

たかの博幸 八期目 当選果たす！

「ご支援ありがとうございました！」
「ごさいました！」

二月九日告示、十六日投票で開かれた大分市議員選挙において、定数四十四名中、十一位となる三千八百三十一票を戴き、お陰様で八期目の市政に携わる事ができます。



新しい地域政党から、多彩な顔触れの新人立候補者、加えてSNSの活用が言われ、それに対応できるのか心配しましたが、前回に増して得票することができました。

皆さんの頑張りに感謝！

「たかの選対」は支援労組（高教組・大分バス・ふれあいユニオン）・地元後援会・解放同盟・社民党大分支部とで総合選対を構成しました。

党大分支部は、先の県議選に候補擁立し、結果



を出すことができなかつた。加えて昨年の衆議選比例区票のわずかではありますが減少を踏まえ、党独自の選対を立ち上げ選挙戦に臨みました。

原動力は
高齢党員の思い！

「たかの博幸」当選の原動力となったのは、高齢党員のOB対策、地域での訪問行動には頭の下がる思いでした。先の選挙での悔しさが強く反映されたものと思います。

課題も山積み！

社民党一議席を継続できたことにはホッとしながらも、いくつかの課題が、
①定数四十四名に一名の擁立、県連合の組織実態からしてやむなしと思いつつ、重く受け止めなければと思えます。
②党員の高齢化
③総合選対を次回も同様の構成で組織できるのからこの課題を踏まえ、今から協議を進めていかねばなりません。

来月行われる豊後大野市議会議員選挙で「原田

健蔵」市議の二期目の戦いに総力を挙げて頑張りましょう！

県連合代表 馬場徳明

あと一カ月！
全力で頑張るぞ！



原田健蔵必勝選対会議
選挙管理委員会による市議選説明会が三月四日に開催されました。

定数十六の議席に対して十九名の方々が出席され、結果として議席十六をめぐり、当初予想された二十名近くが凌ぎを競う、極めて厳しい戦いとなりそうです。

加えて前回、無投票となった市長選も今回あるという事で、前回十二ポイント低下した投票率も大幅に上昇するのではないかと予想されます。



組織を後ろ盾にして悠々と空中戦を行う候補者もいますが、その一方で私のように一票一票を地道に獲得する地上戦を仕掛けざるを得ない候補者も多く存在します。

かつてないほど、一票の重みが命運を分ける凄まじい選挙戦になるうことが予想されてなりません。いずれにしても議員は「当選」に向けたゼロか一〇〇%の評価しかありません。地方における社民党議員の存在意義を十分に肝に命じ、残りあと一カ月、全力を尽くして参りたいと思えます。

党員皆様方の熱いご支援をどうかよろしくお願ひ申し上げます。
豊後大野市議会議員 原田健蔵

大分市議選では
大変お世話になりました
なりませう

二月に行われました大分市議会議員選挙では大変お世話になりました。厳しい選挙でしたが（選挙戦最終盤に体調を崩し、



選挙車に乗ることができませんでしたが、皆さんの力強いご支援をいただき八期目の当選を果たし、社民党の貴重な一議席を守ることができ一安心しました。心から感謝とお礼を申し上げます。

ご支援いただいた皆さんの負託に応えるのが私の責務であり、初心を忘れることなく、社会的に弱い立場の人たちの視点で、これから四年間しっかりと皆さんのお役に立てるようにがんばってまいります。

今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。
大分市議会議員 高野博幸



ななせ大橋東交差点 2月11日 スタンディング

当面の重点施策について

三月五日(水)十三時から市民党大分県連合第七回常任幹事会を開催しました。四 points の重要施策が提起されました。左記のとおり細部に報告します。

(一)大分市議選総括について

高野幹事長が当選しました。詳しくは一面に馬場代表が報告していただきますので省略します。

(二)豊後大野市議選について

四月六日(日)告示、十三日(日)投票で実施。十六名の定数で二十名前後が想定されます。なんとしても「原田健藏」候補の当選を勝ち取らなければなりません。一面に本人からの訴えを掲載しています。



全党員の皆さん、豊後大野市に親戚・友人・知人のいる方は一票でも多くお願いします。協力者カード・リーフは、県連合か支部役員まで連絡願います。

(三)参議院選挙の取り組み

七月三日公示・二十日投票が有力となつていきます。本部方針は三議席以上の確保と二%以上の比例票の獲得です。



(四)県連合次期大会について

通常では四月中旬に開催予定でしたが、四月の豊後大野市議選・七月の参議院選挙と組織の命運をかけた選挙があります。よつて、七月の参議院選挙までは、現執行部が責任をもつて運営することといたします。

次期定期大会は八月二十三日(土)十時開催と致します。

県連合副代表 二村誠一

生ごみの分別収集システムは日田市の貴重な財産！

日田市はこれまで大分県下で唯一、家庭生ごみを市内全戸から分別収集して資源化する取り組みを18年間も続けてきました。集められた生ごみは2006年に稼働開始したバイオマス資源化センターで豚糞尿や焼酎かす等とともにメタン発酵によって発電や肥料に有効活用されてきました。しかし近年、想定を上回る速さで施設の老朽化が進み同種施設の更新には過大な費用がかかるとして、2年後には施設を廃止するとともに、生ごみの分別もやめて燃えるゴミに戻すという方針を打ち出しました。これは、ごみ減量化や脱炭素化といった時代の要請に逆行する邁行と言わざるをえません。



開始当時の市役所職員の努力と、それに応えた市民の高い意識と協力に支えられて定着している家庭生ごみの分別収集システムは、環境都市・日田市の貴重な財産です。私たちは、これを次の世代に伝えて循環型の地域社会をつくらっていくために、生ごみを堆肥にして地域農業の中で活用していくことを求めて活動しています。



生ごみ資源化の継続と有機農業の推進を求める日田市民の会
会長 甲斐 美徳

憲法

戦艦

散戸弾薬庫にミサイルはNO!

軍備増強に反対しよう!

戦争反対!

何事も あとが大切です！

思わぬ上位当選？驚いた方がいるかも知れませんが、大変喜ばしいことですネ…多くの「たかの博幸」を支援して戴いた方たちに感謝です。



この喜びを早く支援者に伝えると同時に、高野市議と共に「より暮らしやすい大分市づくり」を目指していこうではありませんか。選挙のあとが大切です。



日米同盟					
自民	同盟強化	立憲	同盟強化	維新	同盟深化
公明	同盟強化・深化	共産	同盟強化に反対	国民	同盟堅持・強化
れ新	米国追従の外交見直し	社民	在日米軍基地の撤去	参政	新たな日米同盟締結の推進

戦争準備、費やす予算

大分市

賀来 進(76)

◇2022年の暮れ頃、人気テレビ番組「徹子の部屋」でタレントのタモリさんが世相について「新しい戦前」と表現しており、驚きました。それを裏付けるかのように、翌年には岸田内閣による防衛装備移転三原則の改定や防衛費増、敵基地攻撃用の長射程ミサイル保有などの方針が示され、波紋を呼びました。

◇23年2月には突如、大分市鶴野の陸上自衛隊大分分屯地に長射程ミサイルの保管用と思われる大型弾薬庫の新設が判明。追加分も含め計9棟が予定され、11月に2棟の工事が始まりました。

◇また、西日本最大の日出生台演習場では、常態化しつつある日米共同訓練の他に、今年は過去最大規模の日英共同訓練も行われていました。

◇このような「戦争準備」に費やす予算は、社会保障や子育て支援、被災地の復興や物価高騰対策など、喫緊の課題に充てるべきだと思えます。外交は武力ではなく、話し合いによつての「平和外交」を柱とするように、県出身の外務大臣に期待します。

賀来氏の読者の声より

NO! 核

(歯科医師)